

北海校校友だより

令和7年度 2025.11.20

第66号

ism(イズム)意=主義・主張「持論を強く持っている」
北海生が心の内に秘めている誇り、
「北海魂」「北海プライド」「スピリット」などの
総称として、校友だよりのタイトルに
採用させていただきました。

【講演者】

夕張市石炭博物館 館長

石川 成昭氏

東京都出身、建設コンサルタントを経て、
夕張市石炭博物館に勤務
創設者のひとり石川貞治氏のひ孫



北海校校友会 〈事務局:北海高等学校内〉

〒062-8601 札幌市豊平区旭町4丁目1-41 TEL 011-841-1161(代) FAX 011-824-5519
http://www.hokkaikouyu.com 編集責任者/広報部部长 松下 信一(高校28期)

140年の時を超えて

創立140周年
講演 第1弾
(5/8開催)



北海道行政の過渡期
開拓使／
1882(明治15)年に廃止
北海道庁／
1886(明治19)年に廃止
札幌県／
開拓使廃止から北海道庁設
置の間にあった組織

「北海」140年の始まり

北海道行政の過渡期

開拓使／

1882(明治15)年に廃止

北海道庁／

1886(明治19)年に廃止

札幌県／

開拓使廃止から北海道庁設

置の間にあった組織

入学がほとんどだった。

北海道の学生に

厳しい教育環境

農学校には「予備科」(12

歳以上の4年教育)もあった

が、予備科から農学校への合

格は極めて少なかった。なぜ

なら、道外の「中学校」からの

入学がほとんどだった。



星は北海道の象徴
日本遺産「炭鉄港」との関係
・北海道の★「五稜星」は開拓使から
・開拓使の★も殖産興業も薩摩起源!?
1867年に薩摩藩がパリ万博に薩摩琉球国として
参加した際の参加記念章
開拓使の北辰旗は1872年、
船に掲げる旗を起源としますが、...

星のマークとその由来
星のマークはサッポロビ
ールや北海高校などで使わ
れている。
星は北海道の象徴であり、

その星「五稜星」は開拓使の
北辰旗を起源とする言い伝
えや1867年に薩摩藩が
パリ万博に薩摩琉球国とし
て参加した際の参加記念章
とするの言い
伝えもある。
薩摩藩の参加
記念章とする言
い伝えは、薩摩
藩出身の黒田清
隆のもと殖産興
業を振興したこ
とから北海道と
星が結びつい
た。例えば、北海
道炭礦鉄道の社
章は星のマーク
であった。

北海創立時期のこと



己の力で未来を創る、建学の精神。 創立秘話に見た開拓者精神

北海道(札幌)に中等教育
の必要性が叫ばれる

「北海」の前に中等教育を
目指した学校が複数設立さ
れるも、数年で廃校、休止に
追い込まれた。敬業館124
名・豊振夜学校(143名)どち
らも明治14年から17年に設
立するも長くは続かなかっ
た。

北海英語学校の前身「戴
星義塾」が、1882(明治

15)年3月に農学校1期生
の佐藤勇が大通西2に夜学
校を開校した。

「戴星義塾」は開校時に農
学校卒業間近の天津和多利
が助教として教壇に立って
いた。天津は札幌県師範学校
の教諭となった後も、夜学校
で教えていた。しかし生徒数
100名余りを集めるも、ほど
なく経営難になった。原因は学

北海英語学校



初等教育(小学校)
6歳から14歳までの8年間

初等教育(14歳まで)から
農学校(16歳以上)までの
教育が空白だった

札幌県師範学校
初等教育の教師育成

札幌農学校
(北海道大学)
16歳以上で入学可能



講演会の様子

浅羽が引き受けなかつた
ら、それまでに廃校・休校に
なつたいくつもの学校と同じ
く北海の名は歴史の中に刻
まれるのみであった。
明治20年代以降、校舎の
場所は数回移転する。
明治42年に現在の豊平へ移
転された。
戸津高知/1889(明
治22)年北海英語学校へ入

創設者たちのその後

浅羽が引き受けなかつた
ら、それまでに廃校・休校に
なつたいくつもの学校と同じ
く北海の名は歴史の中に刻
まれるのみであった。
明治20年代以降、校舎の
場所は数回移転する。
明治42年に現在の豊平へ移
転された。
戸津高知/1889(明
治22)年北海英語学校へ入

「北海」創立2年で
開校のピンチ

大町信の卒業/1885
(明治18)年7月道外へ就職
教師は大津岡/石川
大津は病気で離道/
1886(明治19)年脳病に
より翌年離道・教師は岡、石
川他

生徒の減少から収入減/
大津の支援も途絶え、教師
や家賃の支払いも困窮・移転
しようにも厳しい状態
1887(明治20)年さら
なるピンチ/校舎問題に救
いの手

1887(明治20)年1月
/石川、岡らが札幌区長兼
警察署長「浅羽靖」に窮状を
訴える。

費の未納と出席率の低下で
あった。
「北海」の前に中等教育を
目指した学校が複数設立さ
れるも、数年で廃校、休止に
追い込まれた。敬業館124
名・豊振夜学校(143名)どち
らも明治14年から17年に設
立するも長くは続かなかっ
た。

「北海英語学校の始まり
(戴星義塾の開校後)」

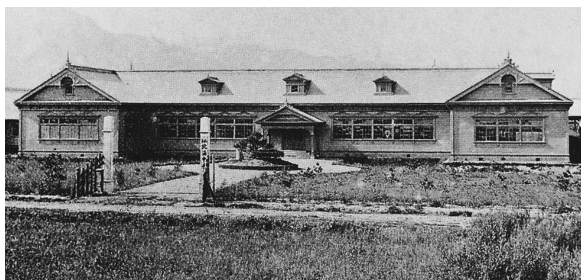
大津は農学校の後輩であ
る小平元と相談する。(小
平元は北海道で最初の代
言者・弁護士・後輩の主な3
人・大町信、岡元輔、石川貞
治
*3人は新たな日本を作る
うと北海道にやってきた
面々。大津は小平の援助と後
輩のやる気を受け、新たな学
校を作ろうと決意。

大津は校長に、3名の後
輩は教師に1885(明治
18)年3月開校

①農学校を目指す青年たち
は、夜に寄宿舎に来て、寺子
屋的に口授を受けていた。

②10人ほど引き受け、丁寧
に教授すると希望者が増え
て応じきれない状況

③大津と岡との間で、中等教
育が必要で夜学校を設ける



北海中学校舎

浅羽は学校の窮状を理解
し、先生たちを激励し、発展
策を語る。

浅羽の発展策
①校舎を新築し、中学校に
する。

②基本財産を作る。

③昼間授業の学校にする。

④教師を優待する。

⑤何万坪の運動場を作る。

借り受け、5月に移転
1888(明治21)年7
月岡、石川の卒業が迫る。2
名が卒業したら、学校の存続
は不可能

浅羽区長に対して、岡と石
川が校主となるよう嘆願し
た。最初は固辞されたが、2
人の卒業が迫ると共に、再三
の嘆願に浅羽は快諾する。こ
こに本校の基礎が成立した。

学する。札幌農学校予科を
経て、札幌農学校に進学す
る。卒業後、札幌尋常中学教
諭から北海英語学校へ就職
する。1901(明治34)年
中学部設置と共に教頭に就
任。1914(大正3)年、浅
羽校長の跡を継ぎ、北海中
学校の校長に就任する。

記録/

事務局 金村周一 事務長

毎日新聞/2025年5月17日 北海道版

栗山英樹元監督講演

「人は才能ではなく 頑張れるかどうか」 北海高の生徒らを激励

栗山英樹さんが講演した。

同校の創立140周年を記念した講演で、栗山さんが系列が同じ北海学園大で特任教授をしている縁で実現。全校生徒や教職員ら約1200人が聴き入った。

栗山さんは、ドラフト下位でフロ入りした選手が活躍するケースなどを多々見てきた経緯を踏まえ、「人は才能ではなく、頑張れるかどうか。今うまくいっていないまでも大丈夫と生徒らを激励した。

講演後には質疑も行われ、多くの生徒から手が挙がった。春季大会で、負傷した主将

に代わってチームをまうになればいいと思うようになったら、不安を感ずる暇はなくなったという栗山さんの言葉に、真剣な表情で聴き入っていた。

【和田幸彦

札幌市で



「人は才能ではない」と言う力強いメッセージ

栗山英樹元監督が語る

——諦めない心の育てかた



2025年6月11日、北海高創立140周年記念講演の第2弾が開催され、2023年WBCで侍ジャパンを世界一に導いた元日本ハム監督の栗山英樹氏をお招きしました。



【講演者】
プロ野球日本ハム・2023WBC 元監督
栗山 英樹 氏
2012年から北海道日本ハムファイターズの
監督を球団最長となる10年間務め、退任後も
同球団の育成・編成補佐に携わっている。

講演では、同校OBであるヤクルト元監督・若松 勉氏との出会いや、2016年に北海高校硬式野球部が夏の甲子園大会で準優勝を飾った年、ファイターズもまた優勝したなどの逸話を披露されました。

また、WBCとともに戦った大谷翔平選手の考え方や物事の捉え方、目標を達成するために逆算して計画を立てて努力する姿を、動画やスライドを交えながら紹介。

「人は才能ではない」と言う力強いメッセージが生徒たち、後輩たちに送られました。

講演後には生徒たちから次々と質問が挙がり、サッカー部からは「チームを一つにまとめる方法」、野球部からは「怪我で苦しんでいる、今出来ることは?」、柔道部は「部員にエールをください」、など、それぞれの部活動の悩みに真摯に向き合う「元監督

の姿に、体育館全体が喜びと尊敬に包まれました。

「もつと聞きたい！」「もつと伝えたい！」と言う双方の熱い思いが広がりを見せた、とても貴重な時間。

生徒たちにとって、この講演が生涯忘れない思い出になったことでしょう。

未来を担う後輩たちの心に深く刻まれたことを嬉しく思います。

校友会事務局

清川澄人（高校35期）



**祝 北海高等学校創立140周年
北海校校友会発足110周年**

校友会記念品贈呈式



令和7年6月19日(木)、母校の創立140周年を記念し、校友会より母校への寄付と全生徒1142名に記念品を贈呈いたしました。贈呈式では、校友会会長より「この記念品は単なるお菓子ではなく、卒業生からのエールです。」とメッセージが贈られました。今回、記念品として贈呈いたしました「白い恋人」は、石屋製菓株式会社様に協賛していただきました。改めて心より御礼申し上げます。本当に、ありがとうございました。

—— HOKKAIと共に、北海校校友会・卒業生一同





HOKKAI ism
〈令和7年度〉2025年11月20日

伝統が君達をつくり、君達が伝統をつなげ!!

硬式野球部

春季北海道大会3連覇! 旭川実業高校を5-4で降して14度目の優勝!

第64回 春季全道高校野球大会
6月/円山球場

- 初戦 北 海 2-0 札幌日大高
- 準々決勝 北 海 3-2 東海大札幌高
- 準決勝 北 海 6-0 白樺学園高
- 決勝 北 海 5-4 旭川実業高



写真提供/北の球児たち

全国最多41回目の夏・甲子園!

第107回 全国高校野球選手権
南北海道大会
7月/エスコンフィールド北海道

- 初戦 北 海 3-2 立命館慶祥
- 準々決勝 北 海 7-4 北 照
- 準決勝 北 海 8-3 駒大苫小牧
- 決勝 北 海 7-0 札幌日大高

札幌日大高校を
7-0で降して優勝!



写真提供/北の球児たち



写真提供/北の球児たち

3年という時間を真剣に
取り組んできた3年生。
ケガに苦しみながら、
みんな良く頑張った!

第107回 全国高等学校 野球選手権

8月/甲子園球場

- 初戦 北 海 7-10 東海大熊本星翔

柔道部

男子団体6連覇! 女子団体8連覇!

6月/北海きたえ〜る

- 【男子個人戦】
73kg級-優勝 81kg級-優勝
- 【女子個人戦】
48kg級-優勝 57kg級-優勝
63kg級-優勝 78kg級-優勝
78kg超級-優勝

インターハイ出場
ジップアリーナ岡山



高校総体78kg級 全国3位!

熊谷 栞(2年)



全日本ジュニア 体重別選手権 73kg級3位!

夏坂匠平(3年)

弓道部

仲間を信じて、北海の世界観で戦う。

女子団体準優勝!

6月/滝川市
スポーツセンター

インターハイ出場
鳥取県立武道館



新体操部

新体操選手権大会北海道予選会

個人優勝!

6月/野幌総合
運動公園体育館

インターハイ出場
下関市総合体育館



陸上競技部

個人女子200m優勝!

7月/旭川花咲スポーツ公園
陸上競技場

インターハイ出場
広島県広域公園陸上競技場

第78回 全国高等学校陸上競技対抗選手権大会結果

7月25日〜7月29日/ホッスタフフィールド広島

- 【個人】 ●男子100m 吉田晴斗 10秒89 ●女子100m 波多野心春 12秒35 ●女子800m 鎌田葉名 2分17秒24
- 男子400m 本柳仁煌 49秒50 ●女子200m 波多野心春 25秒14 ●女子走高跳 藤代真羽 NM
- 男子800m 大西凜空 1分55秒73 ●女子400m 小川乃々葉 58秒74
- 男子400mH 溝延 亘 53秒38 ●女子800m 梶山 優 2分12秒63
- 【リレー】 ●男子4×100mリレー 40秒84(溝延亘(3)・吉田晴斗(3)・本柳仁煌(3)・鹿戸強成(2))
- 男子4×400mリレー 3分14秒42(溝延亘(3)・本柳仁煌(3)・鹿戸強成(2)・長田凜太郎(2))
- 女子4×100mリレー 46秒79(波多野心春(3)・阿部詩歩(2)・橋詰莉乃(1)・山口亜琴(1))
- 女子4×400mリレー 【決勝進出】3分47秒50 (波多野心春(3)・小川乃々葉(3)・梶山優(2)・橋詰莉乃(1))



HOKKAI ism

〈令和7年度〉2025年11月20日

会長挨拶

未来へつなぐ校友の絆

北海高校校友会第十一代会長

加我 洋 三〈高校34期〉



ち一人ひとりの胸に確かに息づいています。

北海高校は本年、創立140周年を迎えました。

この長い歴史を築いてこられた先輩方、学校関係者様、そして支えてこられた校友の皆様、心からの敬意と感謝を申し上げます。母校の伝統と誇りは、私

準備を進めてくださっています。

校友同士が再び顔を合わせ、語り合い、未来への力を分かち合う大切な機会になることでしょう。

そして私には、さらに先を見据えた願いがあります。

それは10年後、北海高校が150周年を迎えるその時、若き世代が校友会を引き継ぎ、堂々とその中心に立つてほしいということです。私の信条は「若者ファースト・学校ファースト」。母校を愛し、未来を担う若者を大切にする校友会でありたいと強く願っています。

皆様と共に、北海高校の新しい歴史を築き、次代へとバトンをつないでまいりましょう。校友会の未来は、私たち一人ひとりの熱意にかかっています。どうか変わらぬご支援をお願いいたします。

校長挨拶

節目の年を迎えて

―校友の皆様への感謝―

校長

秋山 秀 司〈高校35期〉



校友の皆様には、日頃よりさまざまな形で母校を支えていただき、心より感謝申し上げます。お蔭様で本

で盛大に行うことを予定していることから、本年は学校の主役である在校生が日々の学校生活の中でこの

校は今年、創立140周年という輝かしい節目を迎えました。本来であれば記念式典を挙行し皆様にも感謝の意をお伝えすべきところですが、150周年には北海学園全体が、150周年に

令和7年退職者

〈令和7年3月31日退職〉

西川 昇

理科教諭(勤続33年)

岡部 征和

情報科教諭(勤続33年)

〈令和7年8月31日退職〉

伊藤 千絵

英語科教諭(勤続24年)

時間となりました。

また、校友会からは石屋製菓株式会社石水社長のご厚意もあり、全校生徒に記念パッケージの「白い恋人」をご提供いただき、さらにご寄付も賜りました。この場をお借りし、深く感謝申し上げます。さらに、硬式野球部が41回目となる夏の甲子園出場を果たした際には、多くの校友の皆様からご支援とご声援をいただきました。選手たちはその思いを胸に堂々と戦い、北海の誇りを全国に示すことができました。

学校生活では「生き方としての進路指導」の理念のもと、生徒一人ひとりが主体的に学び、探究心と人間力を育む教育に力を注いでおります。学校祭や体育祭、弁論大会、全校応援などを通じ、生徒は友情を深め、互いに学び合いながら成長しています。部活動を引退した3年生は、進路実現に向け気持ちを新たに、仲間と励まし合いながら受験勉強に取り組んでいます。

部活動では、柔道、陸上競技、新体操、弓道、水泳がインターハイに出場。弁論部、文芸部、新聞部も全国総文祭に参加するなど、多方面で輝かしい成果を挙げました。さらに男子テニス部は選手権北海道大会で見事優勝を果たし、全国の舞台への切符を手にしました。

た。サッカー部は全国高校サッカー選手権大会北海道大会で、インターハイ準優勝の悔しさを胸に再挑戦し、全校応援で臨んだ決勝戦で札幌大谷高校を1-0で破り、2年ぶり14回目の全国出場を決めました。男子バレーボール部も20年ぶりに春高バレー全道ベスト4入りを果たし、いずれも粘り強いプレーが学校全体に大きな感動をもたらしています。そして男子バドミントン部の森本悠生君が「東京2025デフリンピック」バドミントン競技の日本代表に選出され、国際舞台での活躍が期待されています。第100回を迎える記念大会が初めて日本で開催される年に、本校創立140周年の喜びとともにこのような快挙が続いていることは、北海生が互いに励まし合い、高め合う伝統の賜物であり、大きな誇りです。

本年は校友会も創立110年を迎えられました。長きにわたり母校と歩み続け、世代を超えて支えてこられた歴史と功績に、心より敬意と感謝を申し上げます。北海高校はこれからも、人間教育を基盤に、明るく活気ある学び舎として歩みを進めてまいります。校友の皆様のご健勝と校友会のさらなるご発展をお祈り申し上げます。

新任挨拶

斎藤 風 我



2025年4月より理科教諭として着任いたしました、斎藤風我と申します。3月までは東京都の目黒日本大学中学校高等学校にて教諭を務めておりましたが、祖母との同居を機に転居することとなり、ご縁をいただいて北海高等学校に勤務する運びとなりました。

子どもの頃から科学の不思議に惹かれ、大学では建築学と環境

工学を中心に学び、共培養微生物燃料電池の研究に励みました。専門科目は生物ですが、前任校では物理基礎も長く担当しており、今年度は生物・生物基礎・化学基礎・地学基礎を受け持っています。初めて教える内容も多い中、生徒とともに学ぶ日々は楽しく、試行錯誤を重ねながら新たな発見を得ることにやりがいを感じています。理科の多様な分野にふれる中で、柔軟な視点をもって教育に臨みたいと考えています。

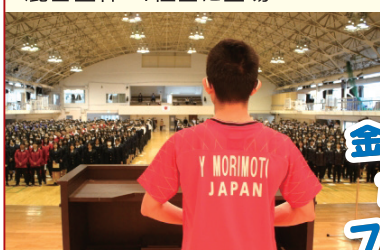
趣味は読書や楽器演奏、製菓などで、日々の楽しみとなっています。これらの経験も、生徒との関わりの中で役立てていければ嬉しく思います。

北海高等学校の歴史と伝統を大切にしながら、生徒たちの学びと成長を支える一助となれるよう努めてまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願いいたします。

東京2025デフリンピック
日本代表壮行会

男子バドミントン部 森本悠生(3年)

シングルス・ダブルス・混合ダブルス・混合団体 4種目に出場



感謝を胸に
金メダルを誓う!
がんばれ日本!
ファイト森本くん!!

第78回 全日本バレーボール
高等学校選手権北海道大会

男子バレーボール部〈春高バレー〉

準々決勝で昨年の優勝校、北海道科学大学高校を逆転勝ち2-1でベスト4進出。準決勝は東海大学札幌高に1-2で惜敗。(ベスト4進出は20年ぶりの快挙!)

2025. 北海高等学校男子バレーボール部に新たな目標とストーリーが始動。



校友会ホームページ改訂プロジェクト

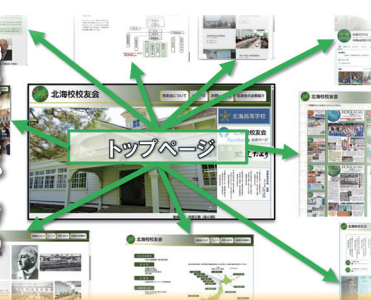
若手を中心とした「Next10委員会」では、ホームページ改訂に着手しています。

【現行ホームページの課題】

- ①ポップアップ
広告の出現
- ②操作性(デザイン構成)
- ③情報伝達

- セキュリティ対策
- 直感的にコンテンツへ誘導
- SNSとの情報リンク
- 校友コミュニケーションのコンテンツ拡充

新ホームページのイメージ



トップページから様々なコンテンツを展開 2026年4月公開予定



校友の動向

最も濃くかけがえのない時間

高校65期卒業

服部 紗季

と全力で楽しみ、笑い合った日々が今も鮮明に心に残っています。



私は6歳からダンスを始め、幅広いジャンルを学んできました。18歳でインストラク

高校時代の3年間は、私の30年の人生の中でも最も濃く、かけがえのない時間でした。出会った友人たちは今でも定期的に集まる大切な存在であり、学校祭や体育祭では仲間



百折不撓の精神がくれた人生の道しるべ

高校66期卒業・空手道部OG

佐藤 穂花



北海道創立140周年、心よりお祝い申し上げます。長い歴史の中で数多くの先輩方が活躍され、そして今も後輩たちが力を発揮し母校が輝き続けていることを大変誇らしく思います。

北海道健児として過ごした3年間は、仲間と共に喜びや悔しさを分かち合い努力を重ねました。二年夏には右足首靭帯を断裂し手術を経験しましたが、自分の驕りや甘さを見つめ直す機会となり「人を導

ける人間になりたい」と強く思うきっかけとなりました。この思いを抱くことができたのは北海道に進学したからに他なりません。北海道高校がなければ、後に日本代表として世界選手権で優勝することも今の私も存在しなかったと確信しています。

現在は大学助教として健康教育に関する研究をしています。北海道で培った「質実剛健・百折不撓」の精神と誇りを胸に、研究・教育活動に邁進し一人でも多くの笑顔を増やすことで母校に恩返ししていきたいと考えています。

今回、校友だより第66号発行にあたり、66期生として言葉を寄せる機会をいただきました。ことに深いご縁と大きな感謝を覚えております。改めて、北海道高校の更なる発展とすべての北海道健児の一層の活躍を心よりお祈り申し上げます。

地方から挑戦

高校64期卒業
サッカー部OB

川村 憲吾



ターとして活動を始め、LAやNYでの留学を経て、現在は東京を拠点にプロダンサーとしてステージに立ちながら、350名規模のダンスイベント「comme moi」のオーガナイザー、パーソナルトレーナーとして身体づくりのサポートをしています。さらに2024年には自身のブランド「Vie Huit」を立ち上げ、オンラインストア運営など新たな挑戦を続けています。

北海道高校で培った「仲間と全力で取り組む姿勢」や「挑戦を楽しむ心」が、今の活動を支える大きな土台です。

開校140周年を心からお祝い申し上げます。在校生の皆さんには、どうか自分の心が動く瞬間を大切に、恐れずに挑戦してほしいと思います。その積み重ねが未来の自分を強くし、大きな可能性へとつながっていきます。

北海道生の一員として、これからも皆さんの挑戦を心から応援しています。

私が中学3年生の時、北海道高校サッカー部が全道大会で優勝する姿をテレビで見、「北海道高校で全国を目指したい」と思い、北海道高校への進学を決意しました。北海道高校での3年間は、楽しい経験も苦しい経験も多くありましたが、その全てが今の自分を支えています。サッカー部のモットーである「素晴らしい選手である前に素晴らしい人間である」という言葉は、今も行動の指針となっています。

これから「質実剛健百折不撓」を胸に、挑戦を続けていきます。母校140周年、心よりお祝い申し上げます。

北海の強い繋がり

高校68期卒業
国際交流部OG

杉山 佳奈子



面接で会話が弾み、ご縁があつて採用いただき、社会人として仕事で母校を訪れる機会にも恵まれました。こうした出来事を通じて、「北海の繋がり」を強く実感しました。

卒業後の私は、夢と現実の狭間で迷いや焦りを抱え暗中模索の時期がありました。が、自分と向き合うことだけは諦めませんでした。高校生活を振り返ると、特に国際交流部での活動が印象に残っています。英語が得意でなかった私は「日本語禁止」の活動に苦勞しましたが、その経験が今、憧れの航空業界で働

く上で海外のお客様対応する際に役立っています。

卒業アルバムの最後に刻まれた担任の言葉「強く生きる」は今も支えであり、携帯の待受けにしていた時期もありました。卒業から10年。幼いころの夢を叶えた今、ようやく自分にとっての「強く生きる」を見つけた。より良い未来を模索して、現在は別の道の国家資格取得を目標に、志を同じくする友人と共に一歩ずつ進んでいます。どんな時も本音で向き合えて切磋琢磨できる友人と出逢えたことは何よりの財産です。これからも質実剛健・百折不撓を胸に頑張っていきます。

2025年度入試を振り返って

進路指導部長
渡邊 雅利

昨年度入試における大学合格実績は、国公立大学に現役で72名(大学校を含めて75名)が合格し、共学化以来最高の成果となった。とりわけ、特進コースからの国公立大受験者および合格者が大幅に増加したことが大きな要因である。

かねてより述べてきたように、入学時の学力にかかわらず、早期から高い目標を掲げ、継続して努力を重ねることで学力を伸ばすことは可能である。その方針のもと、担任団が進路指導を徹底し、生徒が真摯に学習へ取り組み、できた成果が、今回の結果につながったと分析している。

進学コースからの国公立大合格者は例年10〜15名程度にとどまるが、国公立大を狙える学力層は多いにもかかわらず、私大進学を選ぶ傾向が強い。そのため、国公立大合格者を増やすには、まず進学コースからの共通テスト受験者数を増加させることが重要である。期待された浪人生は振るわず、合格者は7名にとどまったものの、北海道大学や神戸大

学など難関大学への進学実績を残した。また、京都大学を受験し合格圏にありながら惜しくも不合格となった2名についても触れておきたい。

スクラスは1クラス13名と少人数ながら、11名が国公立大に合格。内訳は北海道大学4名、国際教養大学1名、旧帝大・難関大を中心に健闘した。阪大や東京科学大に挑戦したが及ばなかった者もいるが、久しぶりに医学部(弘前大学)への現役合格者を輩出した点は特筆に値する。特進クラスは、共通テスト受験者77名のうち55名が国公立大に合格。他校と比べれば受験者数は少ないが、合格率の高さは従来通りである。総合型・学校推薦型選抜の受験者を増やすとともに、前期・中期・後期まで粘り強く受験させることで合格者数を伸ばした。進学コースの9割は総合型・学校推薦型選抜による私大進学であるが、一般受験を含め関西・関東圏の難関私大合格者数は増加傾向にある。その他、専門学校進学や就職など多様な進路も一定数あり、今後も北海道高校は、幅広い進路・学習指導に努めていく所存である。

2025年度入試

現役生徒大学入試合格状況

北海道大学 4名 小樽商科大学 10名

北海道教育大学 11名

室蘭工大 9名・弘前大学 7名・山形大学 1名・

東京学芸大 1名・東京外国語大学 1名・

富山大学 1名・金沢大学 1名・佐賀大学 1名・

札幌市立大 5名・名寄市立大 1名・

旭川市立大 1名・釧路公立大 1名・

はこだて未来大学 5名・千歳科学技術大学 5名・

北見工大 1名・国際教養大 1名・

東京都立大 1名・横浜市立大 1名・

都留文科大学 2名

国公立大学
合計 72名

早稲田大 2名・東京理科大 1名・明治大学 2名・

青山学院大 1名・立教大 2名・中央大 4名・

法政大 3名・同志社大 3名・関西学院大 2名・

関西大 4名・日大 2名・東洋大 11名・駒大 4名・

芝浦工大 3名・成蹊大 2名・

成城大 1名・北海学園大学 132名他

私立大学
合計 408名



HOKKAI ism

〈令和7年度〉2025年11月20日

運動部の活動状況

女子テニス部



3、4位に入れなかったため、道大会は、フリー抽選でした。

選手権道大会の団体戦は、1回戦北見柏陽に3―0で勝ち、2回戦で第2シードの北星女子と対戦しました。部員たちは全力で応援し、選手たちも応援に応え、内容は悪くなかったのですが、敗れてベスト16で終了し、目標とした「全道団体戦3位以上」は達成できませんでした。個人戦

選手権支部の団体は、準々決勝で平岸に勝ち、3位決定戦で旭丘に勝ち、3位に入賞しました。個人はシングルの5位、ダブルスの6位が最高でした。

札幌支部の団体3位に入賞しましたが、昨年度の選抜北海道大会で札幌支部が、

男子テニス部

部員13名でほぼ毎日活動しています。団体戦での全道優勝を目標とし、顧問・生徒一丸となって厳しい練習に取り組んでいます。



今年度は、5月に開催されたインターハイの支部予選で、団体戦で第3位に入り、全道大会への進出を決めま

サッカー部

選抜北海道大会に出場します。道選抜大会では目標を達成できるよう、チームが一丸

今年度は3年生36名、2年生30名、1年生26人を加え総勢92人で、『全国で勝つ』という目標の達成を目指してシーズンを送っています。

インターハイは、札幌支部大会で優勝を収め、全道大会に進出しました。全道大会では決勝まで駒を進めました。札幌大谷高校に0―1で敗れ、準優勝で大会を終えました。プリンスリーグ北海道においては、5勝5分3敗の4位（暫定）でこれから最終節を迎えます。プリンスリーグ終了後は、いよいよ残すところあと選手権大会のみとなります。2年振りの全国高校サッカー選手権大会出場に向けて一戦必勝で臨みます。（9月25日現在）今年度も多くの皆様から



となり取り組んでおります。これからも応援を宜しくお願いします。

ご支援、ご声援を賜り本当にありがとうございます。

男子バドミントン部

2025年6月に行われた全国高等学校バドミントン選手権大会（インターハイ予選）では、団体戦第3位、ダブルスで森本 伊藤ペアが3位、シングルスでも森本が第3位と全て全国決めの試合で敗退となりました。4年連続のインターハイ出場が途絶えてしまったことは残念ではあったが、選手たちはベストを尽くして戦った結果であつた。また3年生の森本悠生は、2025年3月の東京デフリンピック最終選考会も勝ち抜き、混合団体戦、男子ダブルス、男子シングルの三種目での出場が決まった。東京デフリンピックは11月15日に開幕、12日間の試合日程で闘うことになるが、メダル獲得に向け日々努力を続けている。

現在の部員数は、3年生4名、2年生6名、1年生14名の計24名である。チームス



北海高校バドミントン部 Instagramで活動報告をしていますので、ご覧頂けると有難いです。

ローガンである、周囲から「応援されるチーム」「憧れるチーム」づくりを意識し、バドミントンだけでなく日常生活から人間性を磨くことを意識した活動を行っている。1年生の有力選手が多く入部し、今後が楽しみなチームである。

弓道部

令和7年度、8月まで3年生男子5名・女子11名、2年生男子7名・女子3名、1年生男子11名・女子13名で活動してきました。弓道に3年間携わってこられた池野雅哉先生の熱い指導の下、5月の高体連支部大会では女子団体が3位、男子団体は優勝という好成績を収めることができました。6月の高体連主催の全道大会では男子団体が3位・女子団体は二位という結果で、女子団体が全国大会（インターハイ）出場も見事果たしました。鳥取県で行われた全国大会では、例年だと予選を11中で通過できるものの、今年はレベルが高く、11中が10校もあり、そこから4校が勝ち抜ける形でしたが、惜しくも敗退となりました。3年生引退後、8月に行われた北海道弓道連盟中央地区大会では、女子団体3位と女子2

中心に全国大会出場を目指し必死になって厳しい稽古に励んできました。男子団体はミスもあり惜しくも予選リーグで敗退してしまいました。女子団体は、チーム一丸となつて勝ち上がり創部以来初めて決勝まで駒を進めました。決勝では札幌日大と闘い、持てる全てを出しましたが惜敗してしまいました。結果に終わりましたが、しかし過去に入賞もなかった女子団体がここまで健闘してくれたことは大きな自信につな

剣道部

剣道部は6月に行われたインターハイ北海道予選に出場しました。3年生を



今年度は、団体戦で3年生が引退し、新チームとなります。新人戦は戦力は他校と比べても上位にあるので、8年ぶりの選抜全国大会出場へ向け、真面目にコツコツと練習に励んでいきたいと思いま

新体操部

今年度は、団体を組むことが出来ず、個人戦に集中して練習をしてきました。その結



年生・1年生ともに二位という結果でした。また、9月に行われた第51回札幌支部高等学校弓道新人戦では男子団体が3位という結果でした。弓道部では今後も文武両道を掲げ、新チームとして邁進してまいります。

果、全道高体連で岩崎七海（1年生）が庄巻の演技をし、2種目総合優勝を果たしました。

8月6日から8月10日まで山口県下関で行われた令和7年度全国高等学校総合体育大会 新体操選手権大会に出場し、結果は48人中フープが13位、リボンが16位で総合13位という素晴らしい成績を残すことができました。今後は、来年の3月に行われる全国選抜大会に出場出来るように技術力・精神力を更に高めながら全国入賞を目指してチーム一丸となつて日夜、練習に励んでいきたいと思ひます。また、2023年に札幌インターハイが開催された時、目標であった全国15位を団体戦で達成することができました。来年度はさらにその上を目指してチーム作りに励んでいきます。これからも百折不撓・質実剛健の建学の精神を胸に努力を惜しまず頑張っていきます。これからも新体操部の応援を宜しくお願い致します。



アイスホッケー部



今年度のアイスホッケー部は3年生9名、2年生5名、1年生2名の計16名で活動しています。今年の2月に行われた南北北海道の新人戦では苫小牧と札幌の計6チームのリーグ戦を行い最終戦の苫小牧中央戦まで順位が大きく変わる大混戦となり結果次第で準優勝から5位までになる状況の中、6対3で勝利し13年ぶりの準優勝を果たすことができました。8月の全国選抜大会においては、1回戦は近畿選抜2回戦では光泉カトリックに勝利し、準々決勝の駒大苫小牧とは1対11と大敗してしまいました。久しぶりの

全国ベスト8を果たしております。現在、1・2年生の部員が7名で来年度以降の新入部員募集にも力を入れております。競技人口の減少が著しい競技ではありますが、札幌唯一の高校アイスホッケーチームとして存続と競技の発展のためにも校友のお力添えを頂ければ幸いです。身近なところでアイスホッケーを志すお子様がいましたら、ぜひ母校北海高校をご紹介ください。今後は12月の全道、1月のインターハイに向けてさらなる上位を目指して日々の練習に励んでまいります。今後とも応援の程、よろしく願っています。

女子バレーボール部



現在女子バレーボール部は、3年生5名、2年生5人、

1年生11人の21名で活動しています。日々、技術向上はもちろんのこと人間性を高めることにも重点を置き、取り組んでいます。1年生が1人ここ数年で一番多い人数の入部となり、チーム全体に活気が出てきました。昨年度の新人全道では初めてベスト16になりましたが、今年のインターハイ予選ではあと一歩のところで全道大会に届きませんでした。11月に行われる春高バレーの全道大会では目標の「全道ベスト8」を

実現させるために全員で1つになり頑張つていきます。この大会が3年生最後の大会となります。3年生の覚悟と1・2年生のフレッシュさを融合させて目標を達成させたいと思います。今年のチームスローガンは、「気勝点決」です。強い気持ちをもって臨み、点をつかみとりに行くということを掲げました。強気で明るいチーム、周りから応援されるチームを目指して活動してまいります。

男子バレーボール部

男子バレーボール部は今年度3年生5名、2年生10名、1年生6名の21名で活動しています。高体連・選手権・新人大会の全道大会ベスト4を目標に日々の練習に取り組んでいます。今年度高体連全道大会は準々決勝で敗れベスト8という成績で終わりました。基礎の徹底や質の高い練習の継続性を意識して取り組んでいきたいと思えます。チーム内においては、切磋琢磨できるような技術面



の向上や精神面での向上がなければ格上のチームには勝てないので、個々が成長できるように頑張ります。

柔道部

第75回全国高等学校総合体育大会北海道大会が6月中旬にキタエールで開催され、男子団体戦6連覇、女子団体戦8連覇、個人戦男女合わせて14階級中、7階級で優勝しました。第75回大会の歴史の中で、男女でのアベック6連覇は昨年に引き続き史上初の記録を更新することができました。インターハイ全国大会は岡山県で開催され、8月の猛暑が続く中、全員で熱い夏を

過ごすことができました。男子団体戦では優勝した国士舘高校と1回戦での対戦となり、力を出し切れずに敗退となりました。女子団体戦では3回戦まで勝ち進み、7月の金鷲旗で日本一となった、富士学苑高校と接戦を繰り広げ、惜しくも敗れはしましたが、一人ひとりが持ち味をだしてのベスト16となりました。個人戦では優勝を狙っていた男子もいましたが、全国の壁にはじき返され、勝ちへの執念、厳しさを学びました。女子は2年生の熊谷が準

決勝まで勝ち進み、3位入賞。来年の日本一へ、望みのある戦いをしてくれました。9月に行われた全日本ジュニア柔道体重別選手権大会では、3年生の夏坂が大学生を相手に勝ち進み、3位入賞。全日本強化選手に選出されました。今後、国際大会に選出され、日本代表として活躍できるように取り組んでいきます。この夏の結果を自信に変えて、「日本一の稽古をして日本一になる」、「日本を狙って日本一になる」を目標に掲げて、日本一にふ

さわしい努力をしていきます。今後も応援してくれている方々へ感謝の気持ちを持ち、男子32名、女子26名、58名の仲間と切磋琢磨し、共に戦える喜びや楽しさ、また苦しいことも辛いこともあると思います。心一つに「ONE TEAM」で頑張っていきます。OB、OGの皆様をはじめ父母会、後援会、関わっていただいた多くの方々にこの場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。

女子バスケットボール部



女子バスケットボール部は全道大会ベスト8を目指して活動しています。先日行われた選手権大会札幌支部予選会では6位に入賞し、11月に行われる全道大会（室蘭）に出場することになりました。並行して開催される新人戦でも目標を達成できるように一戦必勝で頑張ります。応援よろしく願っています。

男子バスケットボール部



男子バスケットボール部は全道ベスト4常連を目標に日々活動を行っております。全国的に留学生が入れている学校が年々増えていき、道内でも留学生を要する学校があります。そんな中でも目標を達成するために、強いバスケットを目指して、日々強度の高い練習でお互い切磋琢磨しながら取り組んでいます。今年度のチームはシード権を落としたところからスタートしましたが、高体連でシードを取り戻し、全道大会ではベスト8という成績残しました。

硬式野球部



今年度は1年生23人を加え総勢68人の部員となりました。夏の南北北海道大会では、決勝で札幌日大高校に7対0で勝利し、2年ぶり41回目の甲子園大会出場を決める事ができました。甲子園大会では、熊本県代表の東海大学付属熊本星翔高校と対戦し、一生懸命に戦いましたが惜しくも1対7で敗れました。多くの皆様からご支援・ご声援を賜り本当にありがとうございました。

卓球部



2025年度卓球部は、男子12名でスタートしました。

陸上競技部



陸上競技部は今年度のインターハイ出場で11シーズンを連続という区切りを迎え、4×400mリレーで北海道勢唯一、全国大会の決勝へ進出することができました。高いチーム力で競技から応援・サポートまで多くの部員が致団結して闘い抜く精神は、伝統校「北海」ならではの他校からも一目置かれる存在となっています。応援し支えてくださる学校、保護者そしてOBの皆様の期待に応えられ

るように、さらなる高みを求めて挑戦し続けます。これからも応援よろしく願っています。

文化部の活動状況

弁論部

香川県宇多津町で開催された、第49回全国高等学校総合文化祭弁論部門兼第71回文部科学大臣旗全国高等学校弁論大会に、北海道代表として3年掛作菜々美が出場。惜しくも入賞とはならなかったが、東日本大震災での原発被害者の思いを代弁し、早急な課題解決を全国で訴えた。今年度は、1年生2名が入部。9月に開催された支部大会に課題の部赤川恵渚、自由の部山口穂佳が出場し、赤川は優秀賞を受賞。2名ともに全道大会への出場を決めた。例年部員数は多くはなく、不在の学年もあるが、その分密接な関係のもと、日々表現力を鍛錬し、聴衆を魅了する弁論を披露すべく、努力している。



HOKKAI ism

〈令和7年度〉2025年11月20日

第71回 北海道高等学校文化連盟
石狩支部演奏会(カナモトホールにて)
2025年6月20日



秋―市内の特別養護老人ホームで恒例の「合同演奏会」。修学旅行で訪れた沖縄の景色と「ぬちどう宝」を胸に「涙そつそつ」を熱唱。すると演奏後に「僕は君たちの先輩！北海の1期生なんだよ」と一人の入居者さんが声をかけてくださいました。北海学園大学短期大学の卒業生とのことでした。「こ

春―「第71回高文連石狩支部大会」。集大成の大舞台で奏でたのは、技巧を散りばめた面白くも難曲の「年老いたピーターパン」。歌とピアノが混然一体となつてカナモトの大ホールにうねりました。震える足元に気づいた

合唱部

れからも応援してるよ」と握手してくださった手の温もりがまだ残っています。

冬―長年交流を続けてきた札幌静修高校合唱部の第10回記念演奏会が時計台ホールで行われ、友情出演させていただきました。これまで幾度も一緒に歌っては人生や希望を学んだ谷川俊太郎作詞の名曲を、この夜心を込めて歌い、その逝去を悼みました。

書道部は1年生2名、2年生3名、3年生6名の計11名で活動しています。活動にあたって、「自問自答の時間を大切にして作品制作にあたる。」「作品研究や鑑賞を通して、自らの感性を磨く。」「ことを念頭に、週5日の活動で切磋琢磨しています。さて、日々の活動ですが、高文連主催の書道展や全国・道内規模の各種書道展

書道部

のは、会場が大きな拍手に包まれた瞬間でした。心配のあまり直前の練習にも本番にも駆けつけてくれたOB OG、先生方、仲間、家族、そして目には見えない絆で繋がっていたはるか昔の大先輩方…。絆を感じた一年でした。

活動の中で展覧会の出品がある以上、成績は良い方が良

「第9回9.21世界平和の祈り」2025.9.20 護国神社にて



への出品する作品制作が主になっており、1年の集大成として校外展の模様展を開催させていただいております。

また、展覧会の他に、2025年9月20日には札幌護国神社において、和プロジェクトT A I S H I主催の「第9回9・21世界平和の祈り」という平和催事に参加して平和奉納揮毫を行っております。

七月中旬に行われた「第二十回石狩支部文芸大会」では、小説・詩・短歌・俳句・部誌の各部門に出品し、詩部門で3年嶋田、3年木田、3年柏崎が優秀賞。俳句部門で2年高橋が優秀賞。短歌部門で2年木田が優秀賞を獲得しました。さらに部員全員が奨励賞以上に入賞し、

演奏し、華やかな幕開けを飾りました。六月には高文連に出場し、日頃の練習の成果を発表するとともに、他校の演奏から多くを学ぶ機会となりました。七月にはまず北海祭でステージ発表を行い、会場を盛り上げることができました。その後の定期演奏会では、クラシックからポップスまで幅広い曲に挑戦し、ご来場くださった皆さまに感謝の気持ちを込めて音をお届けしました。八月には吹奏楽コンクールに臨み、緊張の中でも仲間と心をつなげて舞台上に立ち、演奏をやり遂げた経験は大きな成長につながりました。さらに特筆すべきは、3年生部員のみではあり



また、昨年度の「全道文芸大会」で短歌部門優秀賞を獲得した3年生木田が七月末に香川県で開催された「全国総文祭」に北海道代表として出場しました。今後も応援をよろしくお願います。

私達放送局の活動は主に朝・昼の放送や全校集会の準備、行事の運営の手伝いと撮影など部活だけでなく生徒会の外局としても活動しています。部の大きな活動として文化祭のフラッシュバックやVTR作成があります。作成のために分担して撮影を行いそれを編集し、どのようにしたら文化祭の魅力を伝えられるか、どのようにしたら

放送局



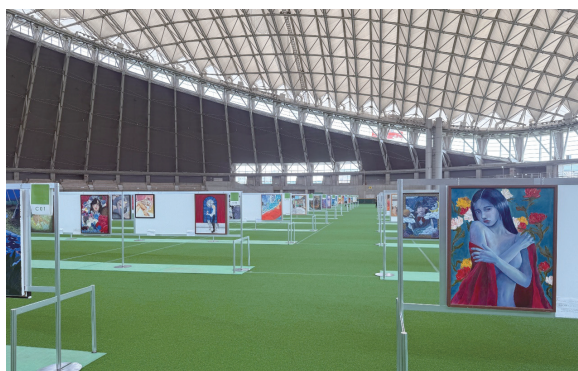
これら以外にも様々な活動をしています。放送局の仕事はあまり目立つわけではないので、皆さんに知られていないことが多くあると思います。ですが「二つの活動に意味があり、学校をより良くするための大切な仕事です。」

これから学校のため、皆さんのためにできることを一生懸命取り組んでいきます。

美術部

美術部は、主に7月の学芸祭の展示、8月の高文連支部大会、10月の高文連全道大会、校外展どんぐり会の発表の場に向けて制作しています。

支部大会では3作品が全道大会へ入選を決め、佳作には7作品選ばれました。全道大会は10月9・10日につどー



支部大会の様子

「北海高校新聞」(写植新聞)を年五回発行することを目標としている。夏号では、外部取材を取り入れた特集記事に取り組み、一般紙と同じ大きさのプランケット判八面を作成した。現在は秋号を作成中である。また、十月十一・十三日に実施されるFM北海道のイベン

新聞局

新聞局は、3年生8名(秋で引退)、2年生12名、1年生14名、計34名で活動中である。

「北海高校新聞」

オホーツク全道大会(十月八・十日・網走市)では、分科会の運営をはじめとして、提言や司会も積極的に務め、活発な交流のうちに終えることができた。全道新聞コンクールでは、めでたく優秀賞を受賞。次年度に向けて更なる努力を続ける。

ト「MARÉAL」学生芸術祭「n l・トロワ」に参加するため、特別号にも取り組んでいる。

昨年度から始まった第一回全国高校新聞コンテストでは、栄えある金賞、今年度の第二回では銀賞を受賞した。第二九回全国高校新聞年間紙面審査賞でも久しぶりの入賞。かがね総文祭(七月二八・三十日)への出場を果たし、現地で優良賞受賞が決定した。

吹奏楽局

今年度も吹奏楽部は、多くの行事を通して充実した一年を過ごしました。四月の入学式では、新入生を温かく迎えるために校歌や行進曲を



演奏し、華やかな幕開けを飾りました。六月には高文連に出場し、日頃の練習の成果を発表するとともに、他校の演奏から多くを学ぶ機会となりました。七月にはまず北海祭でステージ発表を行い、会場を盛り上げるこ

コンピュータ部

将来、コンピュータ関係の各種検定試験に合格できるようにタッチタイピングを基礎から始め、ワープロ、表計算を中心に各自学んでいる。また、各自得意な分野のソフト(3DCG、ゲーム作成ソフト、動画編集ソフト)を購入して、活動している。情報モラルを意識しながら、幅広く活動できる環境にある。現在の部員は3年生男子1名、2年生男子3名女子1名、1年生男子3名である。

文芸部

♪シャンコシャンコシャン

道民なら誰でも知っている『子供盆踊り唄』の作詞者坪松一郎さんは北海中学文芸部のOBだそうす。素晴らしい先輩方を輩出した文芸部員であることを誇りに、日々の創作活動に励んでいます。

令和七年度、文芸部は1年生2名、2年生2名、3年生7名、計11名の部員で活動しました。

七月中旬に行われた「第二十回石狩支部文芸大会」では、小説・詩・短歌・俳句・部誌の各部門に出品し、詩部門で3年嶋田、3年木田、3年柏崎が優秀賞。俳句部門で2年高橋が優秀賞。短歌部門で2年木田が優秀賞を獲得しました。さらに部員全員が奨励賞以上に入賞し、



また、昨年度の「全道文芸大会」で短歌部門優秀賞を獲得した3年生木田が七月末に香川県で開催された「全国総文祭」に北海道代表として出場しました。今後も応援をよろしくお願います。



HOKKAI ism

〈令和7年度〉2025年11月20日

演劇部

演劇部は、主に7月の学校祭での公演と、10月の高文連大会参加時の公演、一昨年度から始めた春公演の、年3回の発表の場に向けて練習しています。

支部大会では昨年度、生徒創作の台本を演じ、参加30校を超える中で2校のみが受賞する脚本奨励賞を2年連続で獲得できました。今

科学部

科学部は現在3年生1名、2年生4名、1年生3名



の計8名が所属しており、生徒からのアイデアをもとに内容を決めて活動をしています。前期には、レジナという品種のミニトマトを用いて、音響栽培における果実の糖度変化を調べる実験計画を立てました。聴かせる曲のデンプルの違いに着目した3つの条件下で計6株の苗を栽培し、約2か月間観察を続けました。夏休み前に花芽形成が行われず、目的としていた果実の糖度測定および比較はできませんでしたが、植物を用いる実験の難

写真部

写真部は、3年生6名、2年生3名、1年生は新しく5名の部員が入部し、計14名で活動しています。日頃から撮れる写真の幅を広げ、部員一人ひとりが写真と真剣に向き合い、努力と工夫を重ねています。撮影や編集にも時間をかけて何度も試行錯誤を重ね、作品を仕上げています。また、校内の他の部活動のご協力をいただき、全校応援や練習の様子なども作品として撮影させてもらっています。今年度は、昨年度以上に部員が自ら積極的な写真撮るようになり、さまざま

な作品を制作することができました。令和7年度高文連石狩支部写真展では、入選に9名・18作品・佳作に5名・6作品が選ばれ、入選以上の9名・18作品が全道大会に出場することになりました。3年生が引退して新体制となりますが、3年生の意志を引き継ぎ、全道大会においても上位入賞、全国大会出場を目指して頑張っています。



支部・同期会活動報告

北海親遊会総会&傘寿(80歳祝)高校16期卒

今年の総会是我々傘寿(80歳)になる為そのお祝いを兼ねて4月22日札幌で開



催いたしました。我々の会は23名おり、年6回の宴会と年1回の宿泊と年6回のゴルフをやっている会です。

今回の参加は20名と出席は良かったです。総会は昨年の反省と実績の確認今年度スケジュール表の取り決め終了。傘寿祝いに入り佐藤氏の挨拶、そして祝杯の音頭は稚内の泉氏が取り宴会に入りました。

幹事 長光雄(高校16期)

第1回 北海高校21期会

令和7年9月13日(土)

ニューオータニイン札幌

75歳を迎えた記念に有志が集い、第1回北海高校21期会をスタートすること

となりました。又、お世話になった恩師の方々にお声かけをいたしましたところ、横山英記先生がご出席くださり充実し実り多き会となりました。横山先生これからもご指導よろしく願っています。

会の合言葉は単純・明快。毎年集合！です。会ではこれからの具体的な目標はどのようなか？が話題となり、慶寿のお祝い会を目指そうと言う事でまとまりました。2027年第3回は77歳「喜寿」、2030年第6回は80歳「傘寿」、2038



高校36期 還暦を祝う会開催

2025年10月1日、京王プラザホテルにて「高校36期還暦を祝う会」を開催いたしました。

司会は岸田君、開会の挨拶は36期会会長・枝澤君より行われ、和やかな雰囲気の中で会が始まりました。

会場には、相変わらず男前な人、少々ふくよかになって誰かわからなくなってしまう人、髪が寂しくなった人、そして今でもハレンチな人など、さまざまな姿があり見た目はすっかりおじさんですが、顔を合わせると不思議と気持ちはあの頃に戻っていました。

江別支部 総会・懇親会開催

第34回北海校校友会江別支部総会、懇親会を令和7年6月8日(日)開催致しました。今回、高11期から高58期迄の19名の会員が出席されました。

「継続は力なり！」とにもかくにも毎年続けることが大切だ！を皆で確認し来年の再会を誓い、会を終了しました。

幹事 宮崎茂樹(高校21期)

開会に先立ち、江別支部物故会員に黙祷を捧げた後、支部長 高26期 草野正義より、開会の挨拶の後、来賓としてお越し頂いた北海道高等学校 校長 秋山秀司様、校友会会長 加我洋三様に、ご挨拶を頂きました。秋山校長には、創立140周年記念事業等の母校の現状等についてのお話を頂き、加我会長からは、110周年を迎える校友会として母校に対する支援等についてのお話を頂きました。

引き続き議事に入り、令和6年度の事業報告、収支決算報告、令和7年事業計画(案)、収支予算(案)全ての議案審議を全会一致で承認可決され、総会は無事終

途中では近況報告も行われ、懐かしさと笑いに包まれた楽しい時間はあっという間に過ぎていきました。そして最後には、校友会の貸し出し用の旗のもと、応援団OB会の藤井君の指揮で全員が校歌を斉唱。忘れていなかった校歌の歌声に、胸が熱くなりました。

36期は10年前の「校友の集い」で幹事を務めて以来の再会となる方も多く、今回の会は連絡の取れる仲間を中心に開催しました。「知っていれば参加したかった」という方も多かったです。

来年11月には、高46期が幹事を務める「校友の集い」が開催されます。今回参加したメンバーも、「また来年、校友会で会おう」と再会を約束しました。

添付したQRコードで検索してみてください。現役の活動他、江別のOB・OGが営業している美味しいお店等、色々な情報を発信しております。参加も大歓迎です。どんどん活用して下さい。多くの同窓と知り合うチャンスです。宜しく願います。

了致しました。

懇親会に移り、高16期長光雄先輩の乾杯の音頭で、懇親会が始まり、各自の近況報告、現役時代の部活の話等に花が咲き、さらにビンゴゲームでも大いに盛り上げました。校歌斉唱では、高31期 応援団OB野村和宏君のエールで、母校北海高と江別支部の発展を祈願してエールで締め、高26期 菊池慶治君の乾杯の音頭で、散会となりました。皆さん時間の経つのも忘れて盛り上った懇親会でした。

最後になりますが、現在、江別市には約480名以上の卒業生が住んでおられ、支部としても多くの卒業生の皆さんと繋がり、校友の輪を広げ、母校の支援活動等につなげて行きたいと考えており、男女問わず、若い方が一人でも気軽に参加が出来る環境作りに努めております。江別在住、又、お勤め先が江別の方で、この『北海イズム』を読まれて、ご興味がある方は、『北海校校友会江別支部』のグループLINEも開設しておりますので、是非、





HOKKAI ism

〈令和7年度〉2025年11月20日

道南支部だより

初冬の候、校友会の皆様にはお元気で過ごすごのことに存じます。

令和7年は4月に中々開催できませんでした新年会の代わりに花見という形で開催させていただきました。(参加者10名。また、夏の恒例ビアパーティーも雨天にて中止となり、道南支部校友の皆様とお会いできる機会が減りました。と共に毎年参加者の減少という寂しさも……。

現在、物価高騰など厳

オホーツク支部

令和7年10月11日、坂口幹事が経営している「肉のなごみ」で総会・懇親会を開催しました。秋山校長がお忙しい中ご出席いただきました。加我会長は所のためご欠席でしたが、十勝支部から柳澤久良十勝支部長と熊田智通様が出席され14名で総会を開始しました。

上野昭一支部長の挨拶から始まり秋山校長から北海道の進学状況や部活動や140周年の記念講演で北海道高校の前進、北海英語学校創立に係る石川貞定氏のひ孫で夕張石炭博物館の石川成昭館長(オホーツク支部の石川孝行氏のご親戚)に講演をしてもらったこと。などの説明があり現在の北海道高校の状況を聴くことが出来ました。総会では、昨年度の事業報告や令和7年度の活動報告案の承認、懸案であった役員改選については上野支部長が退任し「顧問」に、新支部長は高校28期稲村秀一氏に決まりました、副支部長は



じめ幹事長・幹事・事務局長・事務局次長・監査を決め新体制でスタートしました。稲村新支部長の挨拶と乾杯で懇親会が始まり美味いお肉や料理を食べ和やかな時間を過ごすことが出来、坂口新副会長の来年の再開を祈念して一本締めで終了し全員で校歌斉唱をして記念写真を撮影して2次会へ歩き始めました。

事務局長 楠 文彦(高校25期)

2025年プロ野球ドラフト会議

横浜DeNAベイスターズ
3位指名

宮下 朝陽
(高校74期)

守備力・長打力が魅力、
北海では1年生から4番。

●北海高校→東洋大(内野手)

広島東洋カープ
4位指名

工藤 泰己
(高校74期)

北の剛腕、
最速159Km(右腕)!

●北海高校→北海学園大学(投手)

2026年 第115回どんぐり会展(美術部) 第12回樸星展(書道部)合同展

伝統と進化。美と書の感性が交わる、若き力!是非ご覧ください!

- 開催日/ 2026年2月10日(火)~15日(日)
- 会場/ 大丸藤井セントラルスカイホール7F
札幌市中央区南1条西3丁目

※日程変更となる場合がございます。予め、ご了承お願いいたします。

入場無料

北海校校友会2025(令和7年度)活動経過方針

【令和7年】	7月16日	第2回常任委員会
4月9日 北海高等学校入学式	7月26日	野球部を甲子園に送る会
4月11日 財政部会計監査	9月27日	旭川支部総会・懇親会
5月1日 第1回常任委員会	10月3日	第3回常任委員会
5月8日 創立140周年記念講演第1弾 (講師:石川氏)	10月11日	当番期高校46期打ち合わせ
5月22日 財政部会	10月17日	オホーツク支部総会・懇親会
6月7日 令和7年度第1回幹事会 校友の集委嘱状授与(高46期) NEXT10委員会発足	10月25日	第1回役員選考委員会
6月8日 江別支部総会・懇親会	11月	北海学園大学同窓の夕べ
6月11日 創立140周年記念講演第2弾 (講師:栗山監督)	12月	道南支部総会・懇親会
6月19日 創立140周年記念校友会贈呈式 (寄付・記念品)		第66号校友だより発刊
6月20日 総務部会	【令和8年】	
6月21日 十勝支部総会・懇親会	2月	長沼支部総会・懇親会予定
6月28日 北海学園札幌高校校友会	2月	校友会ホームページ完成予定
7月2日 校友会奨学金認定式	2月	高校78期生校友会入会式
	3月	生徒会運営補助費授与式
	3月	北海高等学校
		第78回卒業証書授与式
		令和7年度第2回幹事会

【令和7年度】 高校第77期 校友会クラス幹事

▼1組	新屋 拓	清野 咲々
▼2組	赤平 菜夏	熊谷 博一
▼3組	◎正力 尚樹	◎志和 真優
▼4組	倉田 想太郎	堀 碧希
▼5組	佐々木 梨心	中村 友哉
▼6組	飯塚 芽衣	菅谷 勇心
▼7組	佐々木 萌花	水野 雄大
▼8組	中村 心	杉山 凌玖
▼9組	◎中村 晟豪	◎藤田 彩那
▼10組	大澤 知弥	川合 那奈
▼11組	亀山 三花	◎熊谷 颯
	(◎印代表幹事)	

2026年11月22日(日)開催 校友の集いご挨拶



拝啓 初冬の候、北海中学・北海高校の卒業生の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

北海には約四万四千人に及ぶ卒業生がいます。

は、140年にわたる歴史の中で、北海中学・北海高校の学舎で学び、社会へと巣立った「北海健児」たちの歩みの証です。明治から令和に至るまで、まさに北海道を牽引してきたその一端を、我々北海の絆が担ってきたといえるでしょう。

しかしながら、コロナ禍により長年続いた「北海校校友の集い」は一時途絶えてしまいました。けれども私たちは百折不撓の精神で、来年十一月、その校友の集いを復活させます。とはいえ六年の空白の間に、様々な

課題が生まれています。物価高による開催経費の高騰、長年ご尽力くださった諸先輩方の世代交代に伴う予算面の難しさなど、当番期として乗り越えるべき壁は決して小さくありません。

また、持続可能な形でこの集いを未来へとつなぐためには、20代・30代・40代の若い世代の参加も不可欠です。この課題を乗り越えていくには、今この冊子を手にしている皆様のご支援、ご紹介、そして参加のお声かけが何よりの力となります。ぜひお力添えをお願い申し上げます。

実行委員会では当番期以外のメンバーも広く募集しております。そして当日は、笑いと感動に包まれた、未だかつてない盛り上がるの会にしたいと考えております。この歴史的な瞬間を、皆様と共に同じ空間で共有できることを心より祈念いたします。

校友の集い実行委員会
実行委員長

湊 源道
(高校46期)

敬具





令和7年度サッカー部OB総会



令和7年度のサッカー部OB総会が5月10日(土)に札幌パークホテルにて開催しました。

今年度のOB総会には、52期生で長年Jリーガーとして活躍し昨年度で引退された山瀬功治氏にも参加いただきました。

山瀬氏は2000年に本校を卒業後にコンサドーレ札幌に入団し、その後浦和レッズや横浜F・マリノスなど強豪クラブで活躍され、2006年には日本代表に選出される偉業を成し遂げました。2025年度現在本校OBで唯一サッカー日本代表の選出。

その後もプロサッカー選手としてのキャリアを積み重ねJリーグ24年連続得点記録を樹立しつつ、2025年2月27日レノファ山口FCを最後に25年間の現役生活にピリオドを打たれました。

総会後の懇親会では「北海高校サッカー部に入部できて自分は幸せでした。本校ではサッカーの青春時代を過ごし、そこにエネルギーを注いで様々な思い出を築けた3年間でしたが、人として凄く成長したので現役を続ける中で北海高校での日々は大きかったです」とご挨拶も頂戴しました。

懇親会ではサッカー部島谷監督より花束と記念ユニフォームを贈呈致しました。令和5年度にはサッカー部創部100周年を迎え、現役サッカー部のさらなる発展のためにOB会からも引き続き応援していくことを共有しOB総会を締めくくりました。

OB総会は毎年5月に開催を予定しております。OB会その他の活動も含めまして現役ホームページに掲載されており、OBの皆様の総会のご参加をお待ちしております。

サッカー部OB会事務局

橋本善彦(高校44期)

北海高校教育振興資金 移行のお知らせ

北海高校教育振興資金は「北海学園パイオニア基金」へ移行しました。奨学金、施設整備、クラブ活動支援のいずれかを寄付者様が選択できます。

寄付方法のご案内

決済方法は、クレジットカード、コンビニ払い、銀行振込など、より便利にご利用いただけます。母校や後輩への温かいご支援を、ホームページからいつでも簡単にお手続き可能です。

皆様のご支援を未来へ

皆様のご厚意が、生徒たちの学びと成長を支える力となります。引き続きのご協力を心よりお願い申し上げます。



第69回 全道高等学校 弁論大会

課題の部 優良賞 赤川恵渚(1年)
課題「HOKKAIDOの未来」

令和8年度 全国高等学校
総合文化祭弁論部門出場!!
(開催地:秋田県能代市)

自由の部 優良賞 山口穂香(1年)

校友会役員 選考委員会からの告示

【卒業生の皆様へ】

令和8年3月をもって、現校友会会長および副会長の任期が満了となります。

これに伴い、校友会役員選考委員会では、役員選考規程に則り、次期会長および副会長の候補者を選考し、幹事会で計っていただく準備をしています。

本件に関するご質問は、校友会ホームページ内の「お問い合わせ」フォームより受け付けております。皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

令和7年12月 校友会役員選考委員会

●受付／令和8年1月10日まで

北海校校友会
ホームページ

